

現代経営学応用研究（病院の業績管理会計）

担当教員

松尾貴巳（神戸大学経営学研究科）

開講日時

第1回：10月6日（火）、第2回：10月13日（火）
第3回：10月20日（火）、第4回：10月27日（火）
（1限目 18:20-19:50 2限目 20:00-21:30）

教室

Zoomによる遠隔講義（URL等はBEEFで案内します）

講義に関する相談・連絡先

松尾貴巳 mats@kobe-u.ac.jp にメールで連絡してください。

授業期間中、終了後の課題（提出物）

授業期間中（課題A）

- 提出テーマ：グループワークによるBSCの戦略マップ、戦略課題KPI
- 出日（期限）：10月31日（土）
- 提出方法：プレゼンテーションファイルを松尾宛（mats@kobe-u.ac.jp）にメールで送付

授業終了後（課題B）

- 提出テーマ
所属組織の業績管理上の課題を整理したうえで、本講義で説明した、コントロールパッケージの概念、コントロール・レバーの概念を参考に、どのような点に留意して業績管理システムを設計すれば良いか検討してください。（A4 WORD/PDF ファイル、字数は2,000～3,000字）
- 提出日（期限）：11月10日（火）
- 提出方法：BEEFのレポートシステム

成績評価方法と基準

- ① グループワークに参加しない場合は、出席、レポートの提出の有無に関わらず評価の対象外（0点）とします。
- ② 授業期間中・授業期間終了後の提出物・課題（100点）：グループワークのアウトプット（40%）、提出されたレポート（60%）に基づいて評価します。2つの課題（A、B）のうちいずれかの課題未提出の場合は0点とします。
- ③ 欠席回数に応じた減点（10点/限：20点/回）
- ④ 加点（ディスカッション、発表など）（0～20点、ただし評価の合計点が100点を超えない範囲）：授業中の議論等における貢献度に応じて加点します。

講義の資料・準備

神戸大学LMS学修システム（BEEF）で講義の前週末までにダウンロードできるようにしておきます。

参考文献

基礎的な文献

- ① 木村 憲洋 『1からの病院経営』 碩学舎（2013年） 978-4502470707
より深く勉強したい人向け
- ② 加登豊 梶原武久 『日経文庫 管理会計入門 第2版』 日本経済新聞出版社（2017） 978-4532113698
- ③ 荒井耕(2005) 『医療バランスト・スコアカード』 中央経済社。ISBN: 450225200

授業テーマと目標

本授業は、現代経営学応用研究「病院の経営分析・コスト分析」に関連する講義です。「病院の経営分析・コスト分析」では、医療組織が直面する諸問題について、医療組織固有の特徴を理解したうえで、医療組織におけるコストマネジメントの果たす役割、意義について検討する予定ですが、本授業では、病院全体の管理に関する以下のテーマについて検討します。

1. 病院組織の専門職組織としての特徴を理解し、専門職組織においてどのような組織業績管理システムを導入すれば効果的かについて検討する。
2. 戦略マネジメントツールとして注目されてきた BSC(バランストスコアカード)について、その特徴を理解するとともに、課題・限界等についても理解し、実務への適用可能性を検討する。
3. 病院において重要性が高まっている設備投資の意思決定問題について、計算手法を理解し病院特有の検討事項について検討する。

受講上の留意点

- 本授業ではグループワークを実施します。講義初回に出席した人をグループワークの対象としますので、受講意思のある人は必ず初回講義に参加してください。履修登録していても、初回講義に出席しない場合は受講の意思がないものとします。
- 本授業には、本学経営学研究科「現代経営学応用研究」受講者のほか、経営学研究科が医学研究科と共同で実施している、文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム「実践的病院経営マネジメント人材養成プラン(<https://www.med.kobe-u.ac.jp/mmkobe/index.html>)」(履修証明プログラム)の受講者が参加します。当プログラムは、医師、看護師、技師、病院事務など病院、ヘルスケアに関わる実務家が中心です。また、神戸大学保健学研究科の大学院生も数名参加します。グループワークにおいては、当プログラムの実務家、保健学研究科院生が均等に混ざるようにしますので、協力して取り組んでください。

<p>■第1回：10月6日（火）病院とマネジメント・コントロール</p> <p>1) イントロダクション 2) 組織業績管理の枠組み 3) 病院におけるマネジメント・コントロール上の課題 4) BSC（バランスト・スコアカード）の特徴と、病院における適用の意義について検討する。 5) BSCの2つの事例（新須磨病院、済生会熊本病院）の概要についての説明</p> <p>病院組織の業績管理について、病院組織の特徴を理解したうえで、非財務指標を含む複合的な指標、管理方法でコントロールする意義について理解する。 組織の戦略課題の実現とその管理について、BSC（バランストスコアカード）を取り上げ、導入事例を検討することで、その特徴、意義を理解するとともに、限界や課題についても理解する。</p> <p>受講上の注意・課題</p> <p>事前課題：新須磨病院、済生会熊本病院の事例を読了すること。 当事例については、PDFファイルで事前配布する。</p>
<p>■第2回：10月13日（火）専門職組織としての病院管理</p> <p>1) BSCの2つの事例（新須磨病院、済生会熊本病院）の検討のつづき 2) 専門職組織の特徴と管理 3) グループワーク、ディスカッション</p> <p>新須磨病院、済生会熊本病院の事例について検討を行い、病院組織へのBSCの適用可能性と課題を検討する。 営利企業では機能している業績管理が病院では、必ずしもうまく導入できないことが指摘されてきた。専門職で構成される病院組織において、どのような課題があるのか整理する。</p> <p>受講上の注意・課題</p> <p>松尾・新井(2018)「医療機関におけるコスト情報と管理」、 資料「医療情報の管理と医療マネジメント」 資料「医療プロセスの見える化と管理」 資料は、PDFファイルで事前配布する。</p>
<p>■第3週：10月20日（火）病院における業績管理システムの導入と使いかた</p> <p>1) 専門職組織におけるマネジメント・コントロールシステムの導入と業績管理情報の使いかた 2) グループワーク、ディスカッション</p> <p>病院の経営課題をふまえ、専門職組織である病院組織において、業績管理システムをどのように導入し、業績管理情報を利用すれば効果的に管理できるかについて検討する。 グループワークについて、各グループの課題を共有する。</p> <p>受講上の注意・課題</p>
<p>■第4週：10月27日（火）病院BSCグループワークの発表・ディスカッション</p> <p>病院BSCグループワークの発表とディスカッション</p> <p>受講上の注意・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ● グループ報告用のファイルは、報告当日までに作成し、グループ報告を行う。その後、10月31日（土）までに松尾宛に送付する。 ● グループ代表者は、グループ内におけるメンバーの役割を整理し、A4 1枚以内にまとめ提出する。